

2022年 7月 21日  
株式会社ベイ・コミュニケーションズ

## 10月1日からACAS方式による多チャンネル放送を開始します

阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ベイ・コミュニケーションズ（愛称：Baycom（ベイコム）、本社：大阪市福島区、代表取締役社長：竹間 郁夫）では、2022年10月1日（土）からACAS方式による多チャンネル放送を開始いたします。

放送では4K8K放送が開始されるなど新たな時代に入りましたが、ケーブルテレビで、高画質で臨場感のある映像を体感できる4K8K放送を視聴するためには、現状のC-CAS方式からACAS方式への移行<sup>（注）</sup>が必要となります。

当社では、放送サービスの維持・伸長に向けて、2022年10月からACAS方式による多チャンネル放送を開始するとともに、多チャンネルテレビサービスにご加入のお客様については、STBの交換（C-CAS放送対応からACAS放送対応へ）を段階的に実施してまいります。

詳細は、下記のとおりです。

### 記

- ・多チャンネルサービスACAS放送開始日：2022年10月1日（土）（予定）
- ・多チャンネルサービス契約者：約10万件
- ・多チャンネルACAS放送配信会社：日本デジタル配信株式会社
- ・ACAS放送対応STB：TZ-LS500B、TZ-LT1000BW、TZ-LT1500BW、TZ-HT3500BW  
（パナソニックコネクト製）  
ケーブルプラス STB-2（KDDI 製）等

（注）「CAS」：デジタル放送の視聴管理方法で、現状、地上波・BSはB-CASを、多チャンネルサービスではC-CASを使用しています。今後、4K8K放送視聴に向けて、新しい配信方法であるACASへの移行が必要となります。

以上

【株式会社ベイ・コミュニケーションズの概要】

1. 本 社 大阪市福島区海老江1丁目1番31号
2. 資 本 金 40億円
3. 設 立 1991年4月1日
4. 主な事業内容 登録一般（有線テレビジョン）放送事業、電気通信事業
5. サービスエリア 大阪市西部、尼崎市、伊丹市、西宮市
6. 対象世帯数 93.5万世帯 ※うち接続世帯数 86.7万世帯（93%）
7. 加入世帯数 テレビサービス 15.7万世帯（再送信含む。）  
インターネットサービス 24.8万世帯  
(対象世帯数及び加入世帯数は2022年5月末現在)